

# シンガポールだより

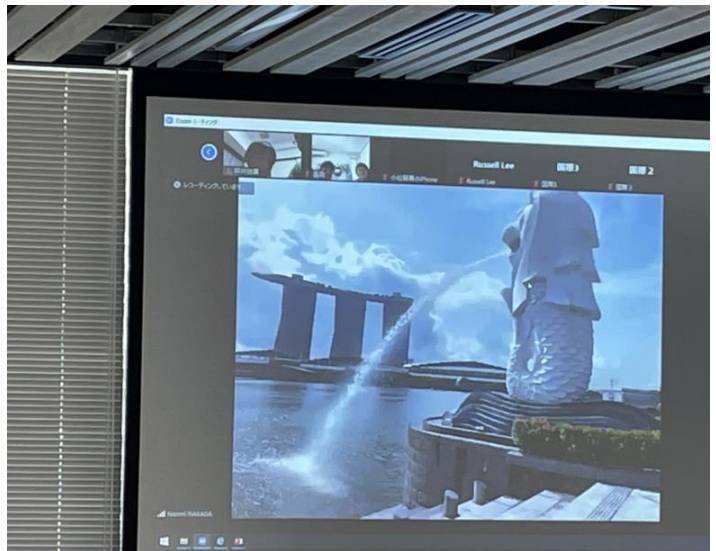
VOL.33



皆様、こんにちは。小山市よりクリアシンガポール事務所に赴任しております、中田です。7月にお届けいたしました前回のシンガポールだよりでは、シンガポールの交通事情やコロナの状況についてお伝えいたしました。今回も、引き続きシンガポールのコロナの状況や9月に実施されましたシンガポールオンラインツアー、そして現地の様子として、シンガポールの祝日「ディパバリ」についてお届けしたいと思います。

1年中高温多湿のシンガポールですが、11月から翌年1月にかけては比較的雨が降り多い雨季となります。11月に入り、雨期らしい気候になってきました。新型コロナウイルスの感染状況としては、9月頃から感染者が急激に増え始め、11月15日現在でも日々数千人という感染者が出ている状況ですが、過去2週間の新規感染者数が前週比の0.8~1倍程度に落ち着きつつあるとして、シンガポール政府は11月10日に同一世帯の店内飲食人数の緩和等を行いました。一方でワクチン未接種者については、行動制限の継続や感染時の医療費自己負担等により、ワクチン接種を促す方針です。日本では、新規感染者数が非常に少ない状態が続いていると伺っております。このまま事態が収束に向かうことを願ってやみません。

引き続き旅行や海外への移動は難しい状況にありますが、9月20日に小山市の小学生とその保護者を対象とするオンラインツアーを実施し、私は中継でシンガポールの名所を案内いたしました。ツアー当日は日本が緊急事態宣言下であったこともあり、参加者の皆様にもそれぞれのご自宅からオンラインでご参加いただくこととなりましたが、シンガポールのマーライオン公園やチャイナタウン、ガーデンズバイザベイの様子をご覧いただき、なかなか旅行に行くことができない小学生に現地の雰囲気を感じていただくことができました。また、質疑応答の時間には、参加者から多くのご質問が上がり、小山市の児童に海外に興味を持ってもらうきっかけになったのではないかと思います。12月には、中央公民館の講座で市民の方向けのオンラインツアーの実施を予定しておりますので、興味のある方はぜひご参加いただけますと幸いです。



オンラインツアーで紹介したマーライオン公園

さて、話は変わりますがシンガポールには中華系、マレー系、インド系をはじめとするさまざまな文化・風習が根付いており、祝日もそれぞれの文化に基づいたものとなっています。先日11月4日は、ヒンズー教の伝統行事である「ディパバリ(Deepavali)」の祝日でした(日にちは年によって変わります)。

ディパバリは善が悪に打ち勝つことを祝う光の祭典とのことで、インド系の方々がよく住む地域「リトル・インディア」は、ヒンズー教にちなんだクジャクの像や、大通りのきらびやかなイルミネーションで装飾されていました。ディパバリとともに開催されるバザール(市場)は、コロナの影響により残念ながら今年は開催されませんでした。街は祭典を祝う人々で賑わいを見せていました。

次回はコロナが落ち着いた後の街の様子などもお伝えできることを願いつつ、今回のシンガポールだよりはここで締めたいと思います。引き続き、コロナ禍においてできることを模索しながら、小山市とつながる活動も行って参ります。



ディパバリのきらびやかなイルミネーション